



Volvo Car Japan

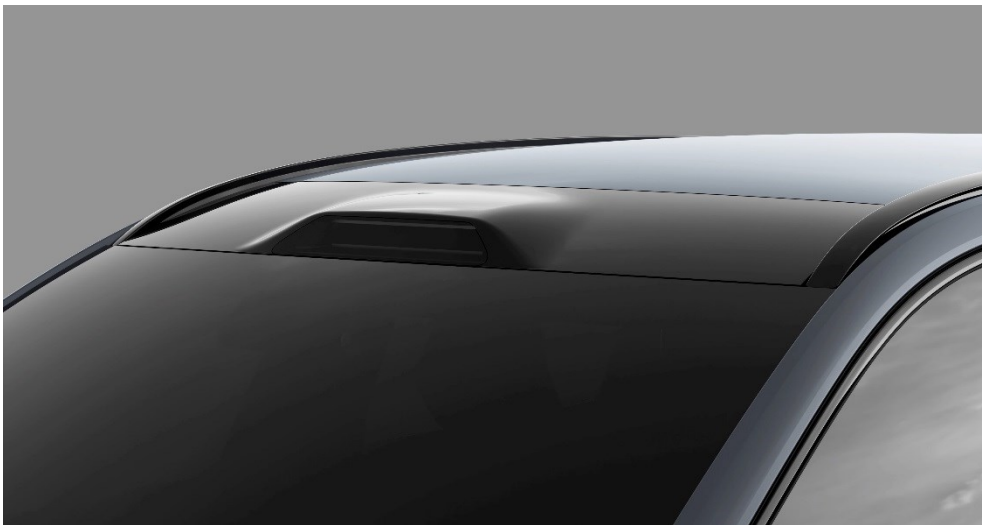
Press Release

2020年5月8日

次世代ボルボ車にルミナー社の LiDAR 技術を搭載 安全な自動運転の実現へ

本プレスリリースは、5月6日スウェーデン本社発の翻訳版です

自動車の安全分野で世界をリードするボルボ・カーズは、テクノロジー企業の Luminar(ルミナー)社と提携することで、業界をリードするルミナーの LiDAR(ライダー)と検知技術を次世代型のボルボ車に導入し、安全性と技術面における新基準を設定します。



この提携により、ボルボ初の高速道路上での完全自動運転技術を実現し、将来のアクティブセーフティ開発への足がかりとします。

ボルボ・カーズの次世代型プラットフォームであるモジュラー・アーキテクチャー「SPA 2」は、ルミナーの LiDAR をルーフに継ぎ目なく一体化させ、2022 年の生産開始時から自動運転に対応可能なハードウェアとして提供される予定です。

SPA 2 をベースにした車両では無線ネットワーク通信でソフトウェアのアップデートが行われ、もしドライバーが選択すれば、個々の地理的な場所や条件が安全であると確認された時点で、高速道路の完全な自動運転を可能にするハイウェイ・パイロット機能が有効になります。

ボルボ・カーズの最高技術責任者であるヘンリック・グリーンは、「自動運転は、責任を持って安全に導入されることによって、歴史上最も人命を救う技術の一つになる可能性を秘めています。正しい判断が行われるために必要となる視界を将来のボルボ車に与えることは、安全に走るうえで重要なステップとなります。」と述べています。

ボルボ・カーズとルミナーは、LiDAR の役割としてハイウェイ・パイロット機能に加えて、将来の先進運転支援システム (ADAS) の改善への貢献についても検討しており、将来的には SPA2 ベースのすべての車に LiDAR センサーが標準装備される可能性があります。

ルミナーの技術は、高性能の LiDAR センサーをベースにしており、数百万パルスのレーザー光を発し、実際の環境を 3D スキャンすることで物体の位置を正確に検出し、インターネット接続を必要とせずに一時的なリアルタイムの地図を作成します。

LiDAR は、カメラやレーダーだけでは得られない信頼性の高い視覚と知覚を提供することで、自動運転モードで安全に走行できる車を実現するうえで重要な役割を果たします。LiDAR は、複雑な環境下において迅速に安全な意思決定を行うための理想的な基盤となります。

ハイウェイ・パイロット機能を実現するために、ルミナーの検知技術は、自動運転ソフトウェアと、今後のボルボの自動運転車に搭載されるカメラ、レーダー、ステアリング、ブレーキ、バッテリーなどの機能のバックアップ・システムと組み合わせて使用されます。これらを組み合わせることで、ボルボのユーザーは、高速道路での安全な完全自動運転機能を利用することができるようになります。

「間もなく、あなたのボルボは、車が安全だと判断したときに、高速道路で自動運転ができるようになります。」とヘンリック・グリーンは述べ、さらに「その時点で、あなたのボルボが運転に責任を持ち、あなたはリラックスして道路から目を離し、ハンドルから手を離すことができます。時間の経過とともに、無線ネットワーク通信のアップデートにより、車が自ら運転できる領域を拡大していきます。私たちにとって、安全な自動運転の導入は、段階的であるべきなのです。」と続けました。

今回の発表の一環として、ボルボ・カーズとルミナーは共同で、LiDAR 技術の量産化に向けて、工業としての安定化とその検証を行うための協力関係についても深めています。また、ボルボ・カーズはルミナーの少数株主持分を、契約上さらに増やすことができます。

シリコンバレーに拠点を置くルミナーにとって、ボルボ・カーズとの提携は、同社の技術を初めて量産化することを意味します。これは、この技術を自動車業界により広く提供するために必要となるスケールメリットを達成するための重要なステップとなります。

「ボルボは、人命を守る最先端の安全技術の標準化を業界全体で推進してきた自動車の安全分野におけるパイオニアとして認知されています。」と、ルミナーの創業者であり CEO のオースティン・ラッセルはこのように述べ、さらに「安全性における次の時代は自動運転にあり、今回もボルボは業界をリードして大きなマイルストーンを達成しました。私たちは、量産化を可能にするためのコスト、性能、自動運転レベルの重要な課題を解決しボルボとともにこの技術を世界に提供していきます。」と続けました。

2019年のボルボ・カーズ(ボルボ・カー・グループ)の実績

ボルボ・カーズは2019年度、営業利益143億SEK(スウェーデン・クローナ)(前年:142億SEK)を記録。同年度収益は、2,741億SEK(前年:2,527億SEK)に及びました。2019年通期の世界販売台数は、前年増9.8%となる過去最高の705,452台(前年:642,253台)を達成。近年の財務・業務体制再編の成果と今後の成長を裏付ける結果となりました。

ボルボ・カーズ(ボルボ・カー・グループ) 会社概要

1927年創業。2019年に100カ国で705,452台を売り上げた、高級自動車ブランドの一つです。ボルボ・カーズの2019年の正社員数は41,500人で、本社、製品開発部門、マーケティング・総務部門の主な所在地はスウェーデンのイエテボリで、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。イエテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)が主な生産拠点で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン部品生産拠点が、オルフストローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。ボルボ・カーズは、新企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。新企業目標は、今後5年間での電気自動車の世界販売台数50%の達成や、収益の半分をコンシューマービジネスで生み出すことなど、当社の多くの戦略にも反映されています。当社は2040年までにクライメイトニュートラルを実現することを目標に、二酸化炭素排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報部

03-5404-8611(代表) Email : vcjpr@volvocars.com